

平成26年2月期 通期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

平成26年4月14日

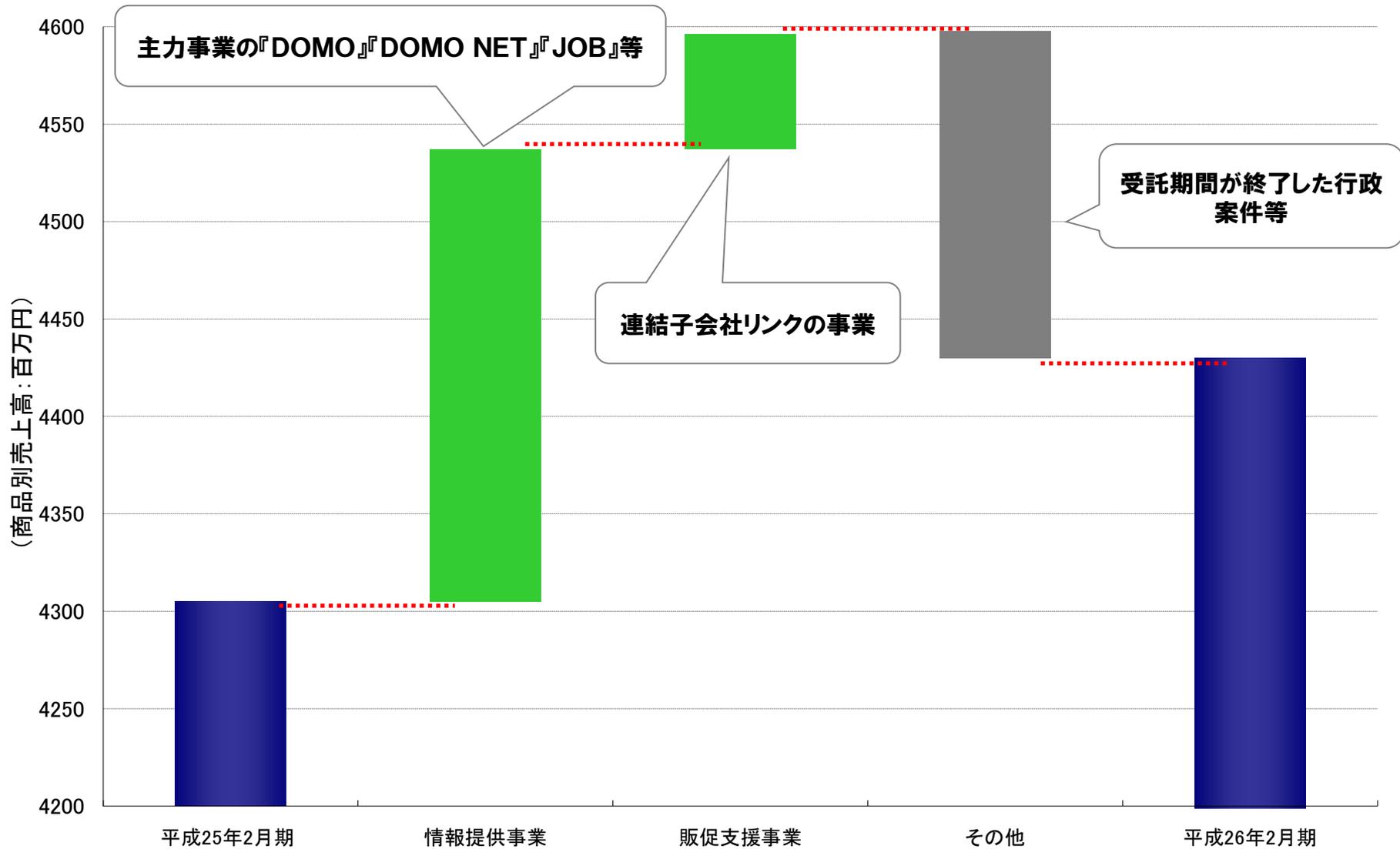
連結業績の概要

平成25年3月1日～平成26年2月28日

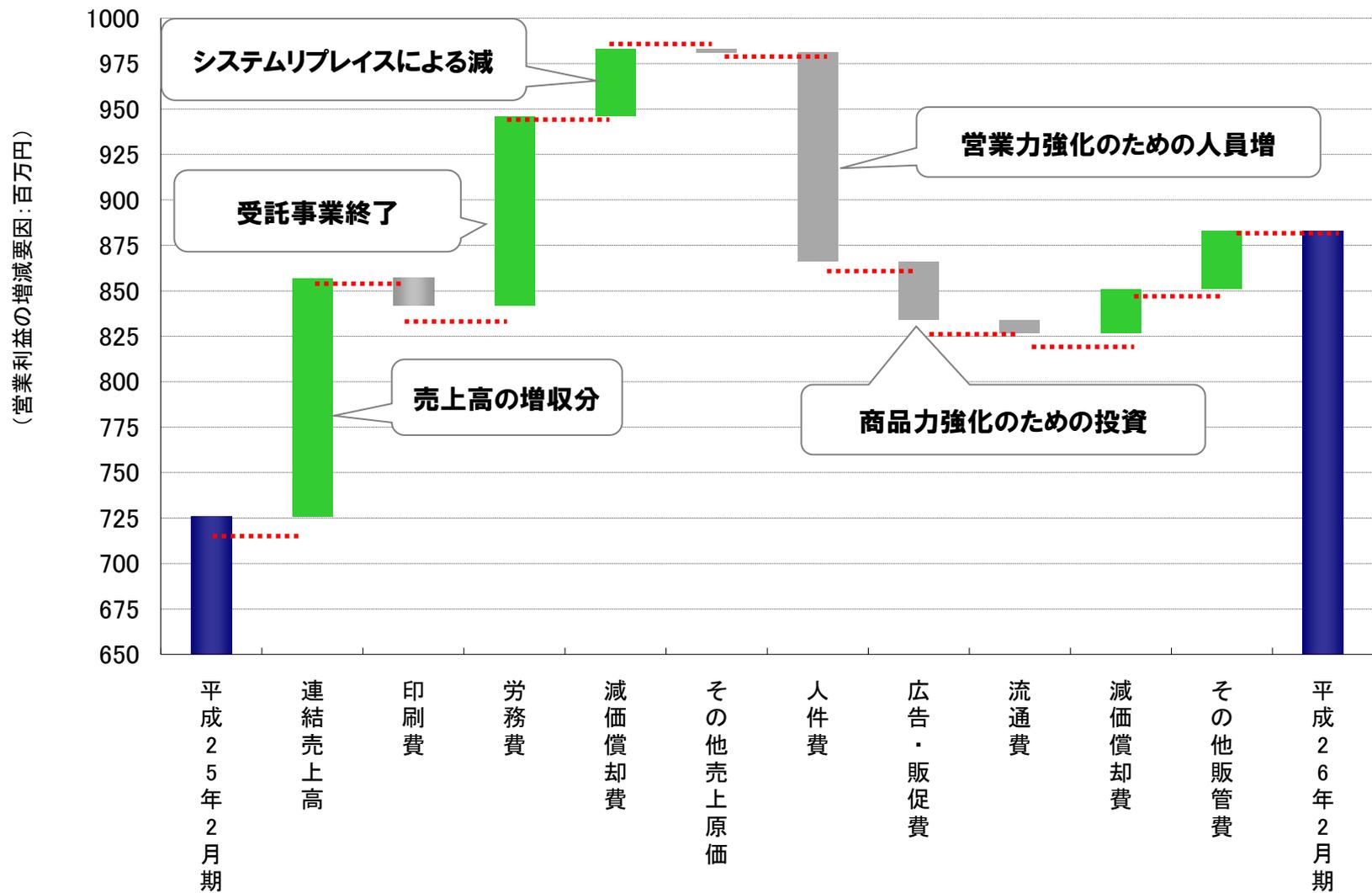
通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成26年2月期		平成25年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,406	100.0	4,275	100.0	130	3.1
売上原価	1,230	27.9	1,354	31.7	△123	△9.1
印刷費	536	12.2	521	12.2	15	3.0
労務費	144	3.3	248	5.8	△104	△41.9
減価償却費	8	0.2	45	1.1	△36	△80.4
その他売上原価	541	12.3	540	12.6	1	0.2
売上総利益	3,175	72.1	2,920	68.3	254	8.7
販管費	2,291	52.0	2,193	51.3	97	4.5
人件費	1,307	29.7	1,192	27.9	115	9.7
広告・販促費	389	8.8	357	8.4	32	9.2
流通費	102	2.3	95	2.2	6	7.3
減価償却費	38	0.9	62	1.5	△24	△39.4
その他販管費	453	10.3	485	11.4	△32	△6.6
営業利益	883	20.0	726	17.0	156	21.6
経常利益	880	20.0	728	17.0	152	20.9
税金等調整前	880	20.0	728	17.0	152	20.9
当期純利益	831	18.9	798	18.7	32	4.1
EPS	¥28.34		¥26.17			

セグメント別売上高



営業利益の増減要因



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		平成26年2月末		平成25年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,917	82.2	3,309	78.7	607	18.4
	固定資産	850	17.8	895	21.3	△44	△5.0
	資産合計	4,768	100.0	4,204	100.0	563	13.4
	流動負債	744	15.6	625	14.9	119	19.1
	固定負債	3	0.1	—	—	3	—
	負債合計	748	15.7	625	14.9	122	19.7
	資本金	455	9.6	455	10.8	—	—
	資本剰余金	540	11.3	540	12.9	—	—
	利益剰余金	3,634	76.2	3,012	71.7	622	20.6
	自己株式	△617	△13.0	△429	△10.2	△188	—
	株主資本	4,013	84.2	3,579	85.1	434	12.1
	その他包括利益累計額	6	0.1	—	—	6	—
	純資産	4,019	84.3	3,579	85.1	440	12.3
	負債・純資産合計	4,768	100.0	4,204	100.0	563	13.4
	BPS	¥137.68		¥119.73			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成26年2月期Q4累	平成25年2月期Q4累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	929	796	132
投資活動CF	△29	△198	169
財務活動CF	△397	△397	0
増減額	502	200	302
期首残高	2,465	2,265	
期末残高	2,968	2,465	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が880百万円、減価償却費が46百万円、未払債務の増加額が20百万円等となった一方で、売上債権の増加額が38百万円となりました。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、有形固定資産の取得による支出が19百万円、無形固定資産の取得による支出が10百万円となった一方で、敷金及び保証金の返還による収入が1百万円となりました。

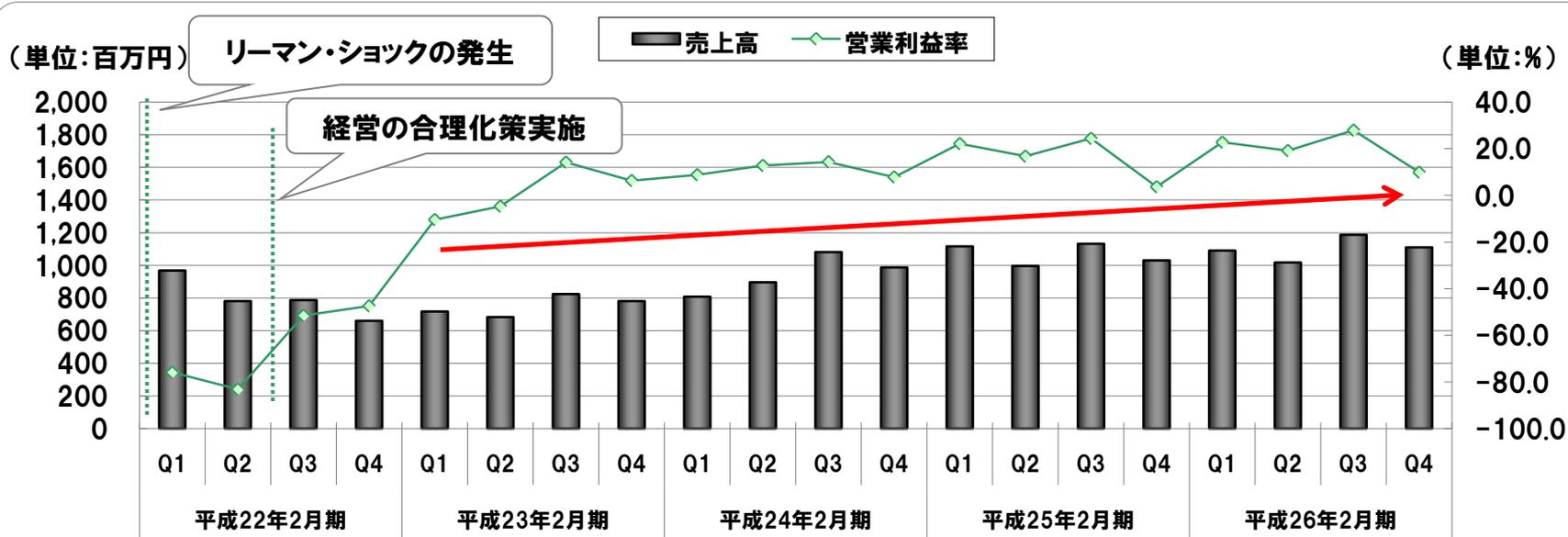
➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 配当の支払い額が2億7百万円、自己株式の取得による支出が1億90百万円となりました。

当期の総括

平成25年3月1日～平成26年2月28日

経営環境



急激な業績の悪化→経営の合理化策実施→ 黒字転換→収益構造の改善→利益の安定化

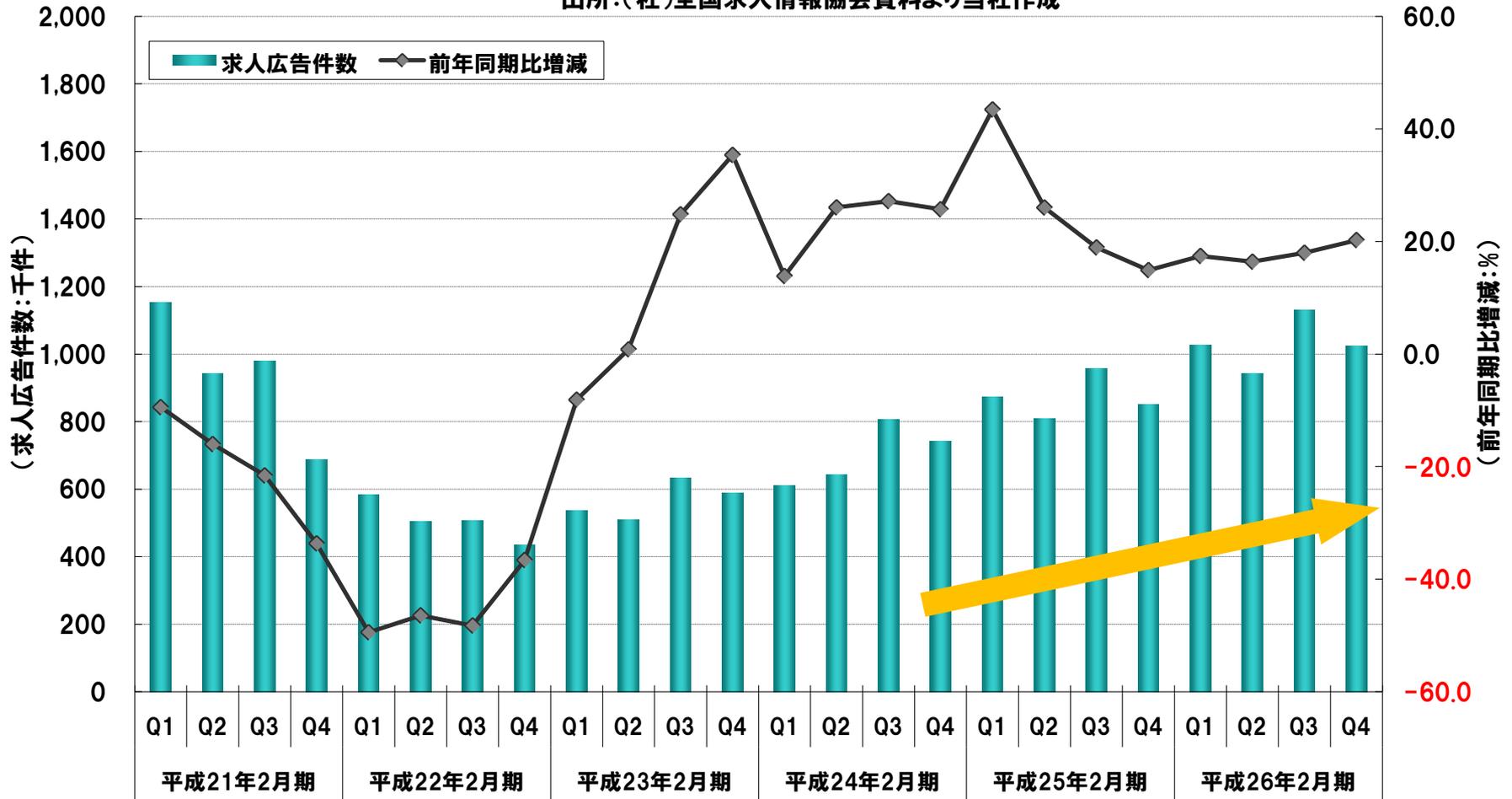
➤ 取り巻く環境

- ◆ 既存求人事業においては従来から縮小傾向が進んでいたが、平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックを境に業績も急激な速さで大幅に悪化。
- ◆ 合理化策による収益構造の改善から黒字への転換を図るも、平成23年3月に発生した東日本大震災、その後の欧州政府債務危機問題等、経営環境に影響を与える諸問題が発生。
- ◆ 緩やかな全国的求人倍率の上昇と共に、静岡県内の雇用情勢も好転し大幅な黒字を計上。

事業環境①

全国の求人広告件数の推移
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

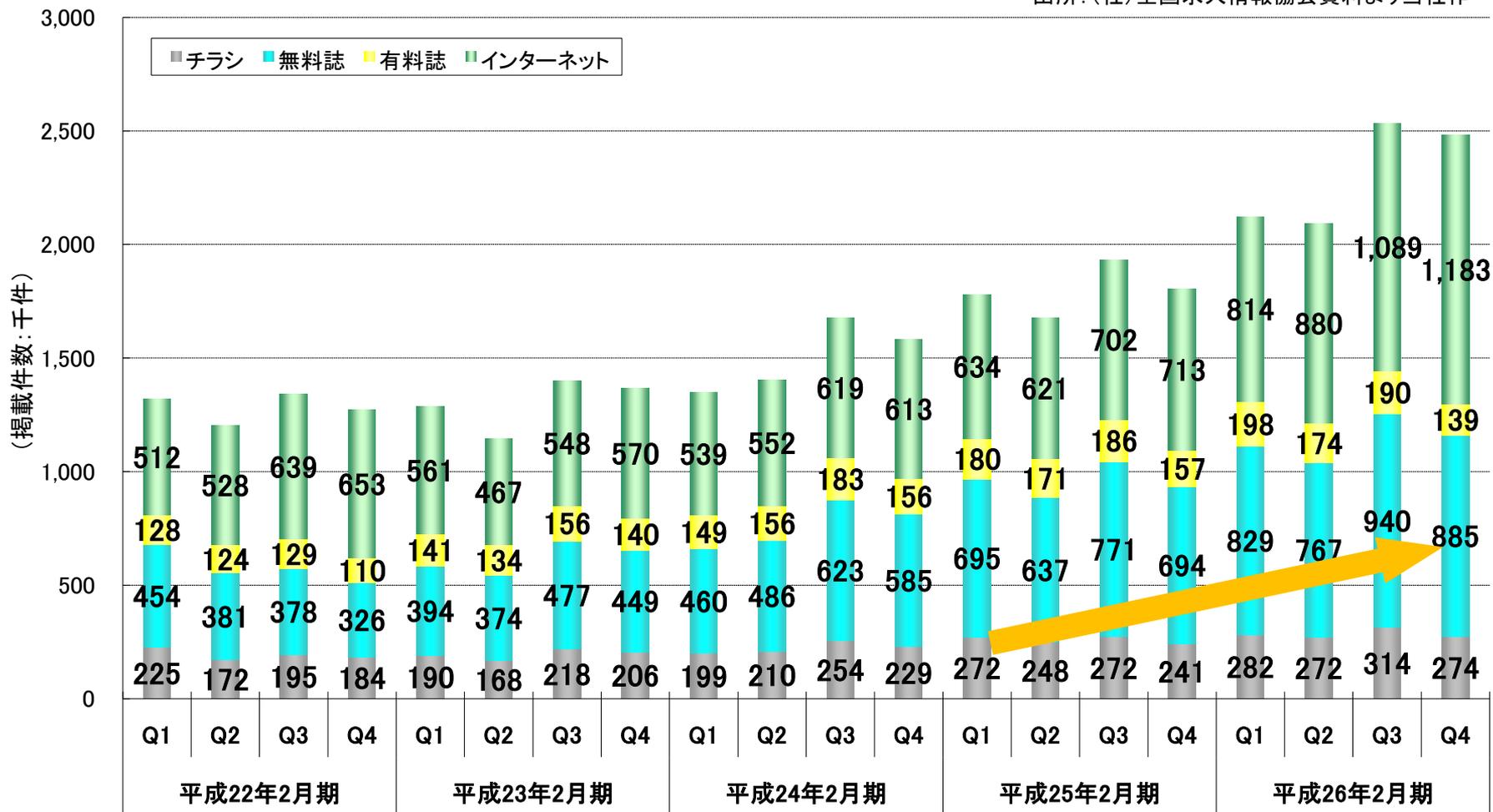
出所:(社)全国求人情報協会資料より当社作成



事業環境②

媒体別求人広告件数(全国)

出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作



当期の方針

基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

各地域での競争力の強化

収益基盤の拡大

組織力の向上

当期の方針

重点施策

➤ 正社員向けサービスの強化

- ◆ 前期に静岡・名古屋エリアでオープンした『JOB』に関東・関西・4エリアを網羅した総合版を拡充
- ◆ 合同企業面談会『シゴトフェア』を静岡・名古屋地域で継続開催
- ◆ 新卒採用サイト『TSUNORU』の販売開始

➤ 『WONDERFUL STYLE』を強いブランドに育成

- ◆ 5月にリニューアル、月刊化
- ◆ 『DOG！フェスタ』を静岡県西部地区で初開催、静岡県中部地区では継続開催

➤ 成長に向けた事業リソースの拡大

- ◆ 増員及び能力開発による組織力の向上
- ◆ 事業領域の拡大に向けた社外ネットワークの積極的活用

次期の方針、連結業績予想

平成26年3月1日～平成27年2月28日

次期の方針

基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根付かせ、自立した企業風土へと変革する

既存収益の安定化

収益基盤の拡大

人材育成と必要リソースの社外補完

重点施策

➤ 収益基盤の安定化

- ◆ 静岡: 優先地域における営業サービス、商品力向上によるシェアアップ
- ◆ 名古屋: 正社員市場を軸とした地域におけるプレゼンスの拡大
- ◆ 首都圏: 既存エリアの需要を取り込むための首都圏顧客サービスの強化

➤ 収益基盤の拡大

- ◆ ペット情報誌「WONDERFUL STYLE」・新卒向け求人サイト「TSUNORU」のブランド力強化
- ◆ 新規事業へのアプローチ: 事業・人材・研究開発への投資

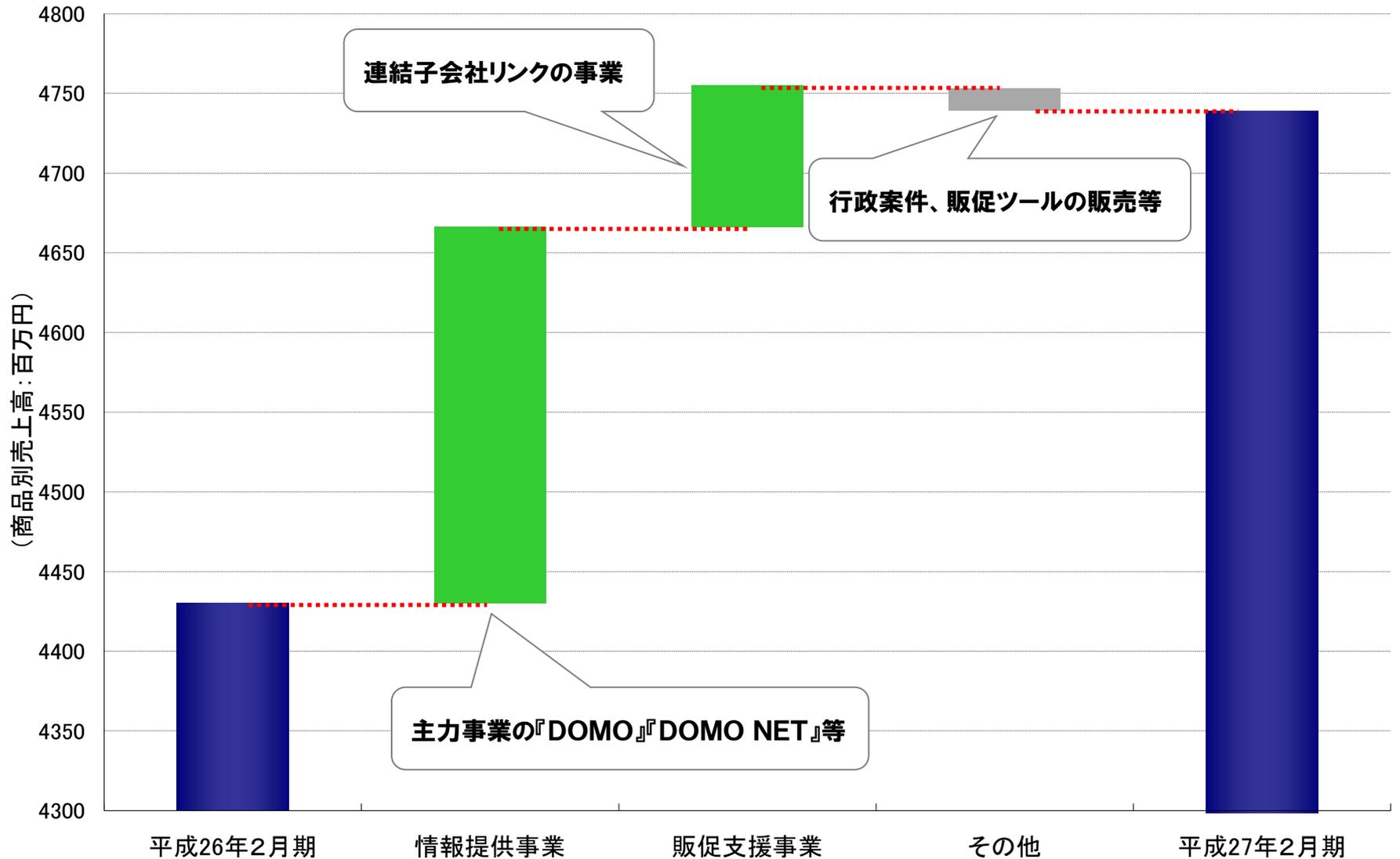
➤ 人材育成と必要リソースの社外補完

- ◆ テーマ別能力開発による自立人材の育成
- ◆ 事業領域の拡大に向けた社外ネットワークの積極的活用

業績予想

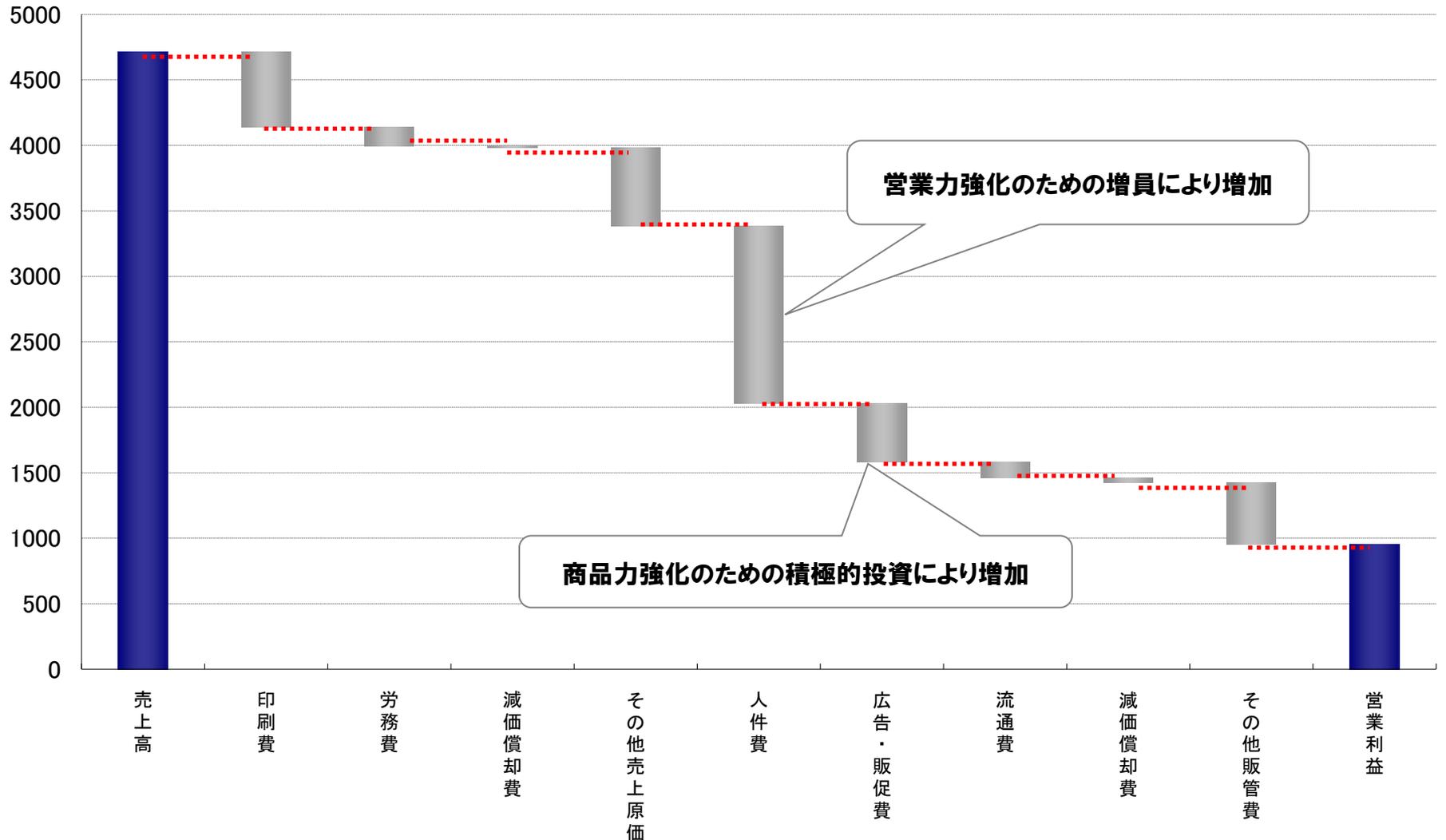
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成27年2月期		平成26年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,715	100.0	4,406	100.0	309	7.0
売上原価	1,328	28.2	1,230	27.9	97	7.9
印刷費	572	12.1	536	12.2	35	6.6
労務費	150	3.2	144	3.3	6	4.4
減価償却費	8	0.2	8	0.2	△0	△6.7
その他売上原価	597	12.7	541	12.3	56	10.4
売上総利益	3,386	71.8	3,175	72.1	211	6.7
販管費	2,434	51.6	2,291	52.0	142	6.2
人件費	1,355	28.8	1,307	29.7	48	3.7
広告・販促費	447	9.5	389	8.8	57	14.7
流通費	120	2.6	102	2.3	17	17.0
減価償却費	38	0.8	38	0.9	0	0.8
その他販管費	473	10.0	453	10.3	19	4.3
営業利益	951	20.2	883	20.0	68	7.8
経常利益	948	20.1	880	20.0	67	7.7
税金等調整前	948	20.1	880	20.0	67	7.7
当期純利益	858	18.2	831	18.9	26	3.2
EPS	¥30.12		¥28.34			

セグメント別売上高



売上から営業利益までの内訳

(単位:百万円)



連結当期純利益の30%を目処

- 当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。
- 一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。
- 当期の配当につきましては、1株当たり8円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり9円の期末配当を予定しております。

自己株式の取得について

➤ 自己株式の取得を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 700,000株(上限)
・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 2.40%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 200百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 平成26年4月9日～平成26年6月30日
- ◆ 取得方法 信託方式による市場買付

➤ 参考(平成26年3月31日時点の自己株式の保有)

- ◆ 発行済株式総数(自己株式を除く) 29,193,193株
- ◆ 自己株式数 4,444,056株

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 管理部広報IR課

TEL:03-3254-2501

FAX:03-3254-2444

E-MAIL:ir@atimes.co.jp

住所:101-0041

千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル4F

HP:http://www.atimes.co.jp